



2003.12.5  
第122号

編集  
福島県教育庁  
会津教育事務所  
編集協力  
小・中学校長会  
発行  
福島県市町村  
教育委員会連絡協議会  
北会津支会、耶麻支会、西沼支会



### 隣の芝生

福島県教育庁  
会津教育事務所総務次長  
高野洋一

昨年、家を新築した。

家が完成するまでの約四か月間、ほぼ毎日のように建築現場に足を運んだ。基礎ができ、柱が立ち、屋根が葺かれ、家として形が見えてくるほどに完成後の我が家への期待が膨らんでくる。

我が家が完成間近に迫った頃、隣家の建築が始まった。隣家の形が見え始めると、他人の家でも気になってくる。どうしても我が家と比較してしまおうのである。そして、隣家のほうが大きく立派に見える。ついには我が家が霞んで見えるのであった。猫の額ほどの庭ではあるが、

定番の芝を植えることにし、西洋芝の種を播いた。朝晩水をやり、肥料を与え、ほどなく芽を出し、所々疎らではあるが青々とした芝に成長した。最近、隣家の庭に高麗芝の苗が整然と敷き詰められた。週末に自宅に帰る度に、隣の家の芝生の成長が気にかかる。我が家の芝よりもきれいに生えそろうているようだし、色も益々青みを増してきている感じがする。「隣の芝生は青く見える。」とは、まさにこのことか、と実感した。

どもは子どもなりに努力し、親が見えていないところに深く根を張って成長し続けているのではないだろうか。隣の芝生が青く見えるのは、自分に自信がないからだ。隣の芝生は隣のもの。自分の芝生をもっとよく見つめるべきだ。我が子は、今、何事にも危うい年頃である。毎日のようにハラハラ、ドキドキさせられている。親として自信をもって我が子を見つめ、水が足りなければ水を、栄養が足りなければ栄養を与えよう。時には刈り込むことも必要だ。そういう親になることが私の夢なのかもしれない。

## 安全対策は万全ですか。

会津教育事務所管理課

学校事故防止・教職員の事故防止につきましては、各市町村教育委員会や各学校におきまして、繰り返しご指導いただいているところでありますが、平成15年度の前・後期の管理訪問を終えて次のようなことが反省点としてあげられました。

### 1 改善されていること

- (1) 前回の管理訪問で話し合われた課題に対して、その解決のために即対応している。
- (2) 危機管理マニュアルが全職員に配布され、それを活用して協議が実施されるなど、機能するマニュアルの工夫・改善が図られている。
- (3) 近隣や関係機関との連携を図って学校事故防止に努めている。

### 2 改善が必要なこと

- (1) 学校事故防止に係わる諸会議等の内容を自校化し、職員に具体的に説明するなど、一人一人の危機意識を高めることが求められる。

### 3 新たな課題に対して

- (1) 不法侵入や子供に危害を加えるなどの新たな課題に対する危機管理意識とその対応について、避難訓練等を通して全職員・児童生徒に周知・徹底を図る必要がある。
- (2) 学校施設・校庭等が、震災等の避難場所になっていることが多いことから、今後、市町村教育委員会の指導のもと、学校の役割や組織体制の整備を検討していく必要がある。

各学校におきましては、学校事故防止対策研究協議会の内容や通知等を参考に校内の体制の見直しを図り、学校事故0を目指し努力していただくようお願いいたします。

## 基礎学力の向上を図る授業の創造<2>

学校訪問の際に、『学校訪問を終えて』という「声」をお聞かせいただいているわけですが、その中にいろいろな質問事項がありました。今回は次の2点について、考えてみます。

指導課

Q1 達成基準「A」を検討したり、「Cへの手立て」を考えたりすると、授業を展開する上でどのような効果があるのですか。

<A1>

この質問に対しては、実際に授業を行った先生からいただいた、次のような「声」を参考にしてください。



達成基準（A、B、C）を明確に文章化し、指導案に載せたことで、学習過程もそれに沿って考えることができた。また、子ども一人一人の姿、実態を把握するのにとても役立った。

なお、この「声」では、「達成基準（A、B、C）」となっていますが、「C」は「Cへの手立て」を考えて作成してありました（「あいづね」綴じ込み資料の「※」参照）。

さらにこの授業（2年生算数「2のだんの九九」）では、「子どもの一人一人の姿、実態」に応じた手立てを考えて授業を展開し、全員に本時の目標を達成させることができました。

このように、児童生徒の実態を的確に把握し、それに応じた手立てを考えて授業を構想し、展開することによって、本時の目標へ到達させることが重要になります。これがいわゆる「指導と評価の一体化」です。

Q2 「習熟度別指導」とは、どのような指導法ですか。また、この方法を取り入れる場合、留意しなければならないのはどのようなことですか。

<A2>

ここ2～3年で、「習熟度別指導」を取り入れて実践している学校が増えてきました。「習熟度別指導」とは、

児童生徒一人一人の学習内容の達成状況を把握し、技能などの習熟の程度に応じて、それぞれの児童生徒に学習内容を確実に身につけさせるものであり、基礎・基本の定着を目指した個に応じた指導法の一つである。

これは、能力を固定したものとしてとらえて行う、いわゆる「能力別指導」とは異なります。

形態としては、必要な教科や単元についてのみ別個の学級内あるいは学級外の学習集団を編成して行います。また、教科別に見ますと、児童生徒の習熟の程度に差が生じやすい教科あるいは単元ということになり、算数・数学や英語などで多く見られます。体育では、技能の習熟の程度の差に応じてグループ別指導が日常的に行われています。

「習熟度別指導」を取り入れる場合は、以下の点について十分留意することが大切です。

- 実施するにあたって、児童生徒や保護者に説明し、十分な理解を得ていますか？
- 児童生徒や保護者に、いらぬ優越感や劣等感、差別感を与えないように配慮していますか？（クラスやコースなどのネーミングにも配慮していますか？）
- クラスやコースの内容などについて具体的な説明をし、児童生徒が適切に自己選択できるような工夫をしていますか？
- 学習集団や教師を固定するのではなく、学習内容に対する児童生徒の実情に応じて弾力的、流動的に編成していますか？
- 学年を通して継続的に行うのではなく、学習内容に応じて適宜実施するようにしていますか？



# 通学合宿の実践から

生涯学習課

学校の枠を超え、希望する児童が自宅を離れた場所で寝食を共にしながら、それぞれの学校に通う通学合宿の実践が少しずつ増えてきています。

3泊4日で実施されるケースが多いようですが参加した子どもたちからは大変好評で、この事業からは次のような効果が期待できるようです。

- ① 一つ屋根の下で寝食を共にする楽しさを体験し、人間関係の輪が広がり深まること。
- ② 参加者の感動体験が、その後のボランティア活動のきっかけとなること。
- ③ 参加者にとっては、家庭や家族を見つめ直す機会となり、感謝の心が芽生えること。

④ 学校と社会教育の側が連携を密にし、相互に協力し合えば、学社融合が一層進むこと。

⑤ 運営スタッフの人選次第では、地域人材の育成・活用が図られるとともに、「地域の子どもは地域で育てる」体制ができること。

「来年はボランティアでもいいですから、参加させてください。」と言ってくれた当時小学6年生が、中学2年生になった今年もボランティアとして参加している姿を見て、何かこの事業のすばらしさを感じ、胸が熱くなる思いがしました。



## 地域に学ぶ

佐原十郎義連の墓  
熱塩加納村教育委員会

佐原十郎義連は保延4年(1138)に、三浦大介義明の七男として現在の三浦半島に生まれ、小坪衣笠の戦や一の谷の戦に敵軍を破って勇名をあらわし、その功により相州佐原の地2万石を賜われました。文治5年(1189)源頼朝拳兵の時と奥州征伐(奥州平泉の覇者藤原泰衡を滅ぼすための戦)には頼朝に従って泰衡を滅ぼしその功によって会津最初の領主となり、本村半在家地区に居城を築きました。

13世紀の中頃から会津とかかわりを持ち藩主となる芦名氏の始祖でもあります。

義連の没年は明らかでなく、墓は約1反歩(約330㎡)に石柵をめぐる中に、小五輪10基(義連の左右にあり追腹を切った家来の墓)を配し、その中央に高さ7尺6寸(2.3m)の宝篋印塔(墓)が時の領主芦名家7代直盛により応永8年8月(1401)に建てられました。

(昭和31年9月4日  
県重要文化財に指定)



## 心に残る人々



西会津町教育委員会教育長  
長谷川 隆 夫

小中学校の感受性の強い時期に教えを受けた先生の影響で、将来の進路を決めたり好きな道に進んだりする人が多いと言われる。

私も先生のおかげで好きになったものがある。旧西会津中学校1年の授業の時間。数学の石川照子先生(通称テル先生)は、大きなコンパス、定規、分度器を使って図形を黒板に書き、圧倒的パワーで熱く授業をされていた。小柄な先生が、背を伸ばして大きな声で教える姿に感じるものがあったのは、私だけではなかったと思う。その後先生の時間は良く聞くことができたし、数学の授業が楽しみになった。それが高じて数学が好き(得意ではない)になった。

今の学校は、多様な教材が用意され、生徒にわかり易い指導法が研究され実践されている。ただ生徒たちは、型にはまったものだけではなく先生から感じる何かを求めているような気がする。

私は、今は亡くなられたが「石川照子先生」のような情熱をもって指導していただいた先生方に会えて感謝している。

私  
の  
抱  
負



裏中のスローガン

北塩原村立裏磐梯中学校  
校長 深谷 哲三

放課後、体育館から足早にやってきてドアを開け「さようなら」と言って昇降口へ向かう生徒たち。もちろん、朝の「おはようございます。」も明るい笑顔と元気な声。

『明るく元気なあいさつ』など四つのスローガンを掲げた生徒会活動をはじめ、様々な場面で積極的かつ活気あふれる頼もしい生徒たち。  
そして、学校教育に熱心で協力的な保護者、地域の方々にも助言や応援をいただき、裏磐梯中学校の充実した一日は今日も過ぎていく。

雪解け、新緑、そして鮮やかな紅葉が終わり、冬を間近に控えているが、裏磐梯での過ごし方や楽しみ方を学び、これからも生徒、職員とともに、裏磐梯の四季を存分に味わいたい。



初心を忘れず

猪苗代町立山潟小学校  
教頭 菊地 正人

学校から水芭蕉・磐梯山・猪苗代湖・国道四十九号線・磐越西線が全て見えるのが山潟小学校です。宝の山と唄われる磐梯山だけでなく学区内には学習の素材となる宝がいくつもあります。基礎学力の向上を図るとともに、身近な宝を生かした学習も充実させていきたいと考えています。

また、教頭としての「視野の広さやアンテナの高さ」はまだまだ不十分であり、猛省する毎日です。チームワークやアシスタントを大切にするとともに、初心を忘れることなくやっていきたいと思っています。

さらに、平成十七年四月の月輪小学校との統合による閉校を控え、PTAや地域との連携を図りながら、思い出に残るフィナーレを迎えられるようにしたいと考えています。



子どもと共に

会津坂下町立坂下小学校  
教諭 野村 貴千世

「おはようございます。」

大きな声で挨拶すると、キラキラと目を輝かせた子どもたちが、私の二倍も元気な声で挨拶を返してくれる。そして、息を吸う間もなく、昨日の出来事などを我先にとうれしそうに話してくれる。そのイキイキとした表情を見て、私も一日の元気をもらうことができる。また、休み時間ともなると、「みんなで遊べばみんなニコニコ」を合言葉に、子どもたちも私も夢中になって走り回る。

今、私にできることは、子どもの目線に立ってよく話を聞き、よく遊び、子どもと心を通じ合わせることでと考える。一人ひとりのことをよく知り、その子に合った方向性を指し示せるようにしたい。そして、子どもと学び、成長し続ける教師でありたい。

作 品 と 指 導

工 作

『こん虫大集合』

会津若松市立小金井小学校  
3年 小 山 由稀菜



夏休み中、こん虫をさがしに出かけました。大好きなカブト虫や、オオクワガタなどを見つけることができました。

その時の感動が忘れられなかったので、粘土を使って表現しました。楽しかった夏休みを思い出させる作品です。

指導者 渡部 寿之

習 字



山都中  
三年 永山 香織

『交 流』  
山都町立山都中学校  
3年 永山 香織

本町では東京都東大和市との交流十周年を迎えた。人そのものが一つの情報として生きていく時代。さらに人との交流を大切に考えさせていきたい。楷書の骨格を残しながら「流」の二画を連続できることをポイントに段階的に行書に親しむよう配慮した。

指導者 村田 伸也

絵

『あなをのそくと、そこは動物のパラダイス』

柳津町立西山小学校  
1年 今井 直人



穴をのそくと、そこにはアヒルやかぶと虫が仲良く遊んでいます。画用紙を丸めたり、折ったりして、楽しみながら土の中を表現していました。そのトンネルや坂で遊ぶ動物たちも伸び伸びと動き、楽しい絵となりました。

指導者 生江 和枝